



# ディスカバー・スノーケリング及びスキンドайビング 免責及び 危険引受同意書

よく読み、空欄に全て記入してから署名してください。

私 \_\_\_\_\_ は、

参加者氏名

スキンドайビングには重傷又は死につながる可能性のある固有のリスクがあることを認識していることを、ここに確言します。

私は、私のガイド/インストラクター、このプログラムの提供を媒介する施設である OKマリンプロ・アクアティクスセンター、他  
施設名

PADIアメリカ(株)、その支社及び子会社、それらの各従業員、役員、代理人、請負業者、権利継承者(以下「免責関係者」と称する)のいずれに対しても、私がこのプログラムに参加した結果として、又は免責関係者を含む関係者が能動的か受動的にかかわらず過失を犯した結果として、私、私の家族、財産、相続人又は権利継承者に傷害、死亡又はその他の損害が生じた場合に、その責任を一切問うことができないことを理解し同意します。

私は、このプログラムへの参加を許可される対価として、このプログラム参加中に私に起こるこのプログラムの全てのリスクを、それが想定外であってもなくても、ここに自ら引き受けます。

私はさらに、私がこのプログラムに登録及び参加することから生じる、私、私の家族、財産、相続人又は権利継承者による賠償請求又は訴訟から、かかるプログラム及び免責関係者を免除及び免責し、これに害を与えません。

私は、スノーケリング及びスキンドайビングは身体的に激しい活動であり、このプログラム中は身体に無理がかかることを理解しています。心臓発作、パニック、過呼吸、水溺又はその他の要因によって傷害を受けた場合でも、かかる傷害のリスクを明示的に引き受け、免責関係者にその責任を負わせることはありません。

私は、過去または現在の病状が、私のプログラム参加に禁忌である可能性を認識しています。私は、風邪、鼻詰まり、耳感染症に現在かかっていないことを確言します。また、けいれん発作、めまい若しくは失神又は心臓病(例：心血管疾患、狭心症、心臓発作)を起こしたことがないことを確言します。さらに、肺気腫や結核などの呼吸器疾患にかかったことがないことを確言します。私は、身体能力または知的能力を低下させることに関して警告が記載されている医薬品を、現在服用していないことを確言します。

さらに、私は法定年齢に達しておりこの免責同意書に署名する資格があるか、私の親又は保護者の文書による同意を得ていることを言明します。私は、本書に記載されている条件が契約であって単なる説明でないこと、及び本書によって私が自らの法的権利の放棄に同意することを認識して自らの自由意思でここに署名したことを理解しています。さらに、本同意書のいずれかの規定が強制不可能又は無効であることが判明した場合、その規定が本書から分離されることに同意します。その場合、本同意書の残りの規定については、強制不可能な規定が最初からなかったものとして、解釈します。

私は、免責関係者に対して訴訟を起こす権利を放棄するだけでなく、私が死亡した場合に私の相続人、権利継承者、受益者が免責関係者を訴える権利も破棄することを理解し同意します。さらに、私にはそれを行う権利があり、私の相続人、権利継承者、受益者は、私の免責関係者への表明のため、異議を主張することができないことを表明します。

私 \_\_\_\_\_ は、本書により、

参加者氏名

人身傷害、物品損害、不法死亡について、能動的か受動的かを問わない免責関係者の過失であっても、原因にかかわらず、私のガイド/インストラクター、このプログラムの提供を媒介する施設である OKマリンプロ・アクアティクスセンター、他  
施設名

PADIアメリカ(株)並びに上記に定義する全ての関係組織の一切の責任を免除することに同意します。

私及び私の相続人は、自分及び私の相続人を代表して署名をする前に、本書を読んでこの免責及び危険引受同意書の内容について十分な知識を得ています。

参加者署名

年 月 日

日付(年月日)

親又は保護者署名(該当する場合)

日付(年月日)



# PADI 安全潜水実施了解声明書

## 注意して読んで後にご署名ください。

この声明書は、スキン・ダイビング、スクーバ・ダイビングを安全に行うために必要なことを知っていただくためのものです。これらを再確認し、了解していただくためにまとめられたものであり、ダイビングをするにあたっての快適度や安全性を増していただくために作成されています。

私  (氏名を楷書で) は、ダイバーとして以下の事項を守るべきであることを了解しています。

- 精神的にも身体的にもダイビングに適したよい体調を維持します。ダイビングに影響を与えるアルコールや薬物は控えます。つねに十分なスキルレベルを維持し、継続教育を通じてスキルレベルを高めます。ある期間ダイビングから遠ざかっていたときは、安全なコンディションのもとでスキルの復習をしてコースで使用したテキストを読み直して重要なダイビングに関する知識をリフレッシュします。
- 私が潜るダイビング・ポイントをよく知ります。初めて潜る場合やダイビング・ポイントの情報が不足している場合は、知識豊かな現地スタッフなどから正式なオリエンテーションを受けます。私が経験したことのある環境よりもコンディションが悪い場合には、ダイビングを延期するか、あるいは良いコンディションのダイビング・ポイントを代替地として選ぶようにします。私の受けたトレーニングや経験にあったダイビング活動にのみ参加するようにします。専門のトレーニングを受けていない場合は、ケープあるいはテクニカル・ダイビング活動に参加しません。
- よく手入れされていて、使い慣れている器材を使用します。器材は各ダイビング前に正しく調整し、きちんと作動するかチェックします。スクーバ・ダイビングを行うときは必ずBCDと残圧計を使用します。ダイビングをするときは中圧インフレーター（パワー・インフレーター）付きのBCD、残圧計、ダイブ・プランニング/モニタリング器材（使い方の講習を受けたダイブ・コンピューターやRDP/テーブル）を使用します。認定を受けていないダイバーに私の器材を使用させません。
- ブリーフィングや注意事項、その他ダイビングに関する説明や指示をよく聞いて、私のダイビング活動を監督する人のアドバイスに敬意を払います。また、特別なダイビング活動への参加、不慣れた地域でのダイビング、6カ月以上ダイビングをしていない場合などは追加のトレーニングが必要であることを認識しています。
- ダイビング中は、最初から最後までバディ・システムを守ります。水中での連絡方法や万一離れ離れになったときに再集合するための方法、緊急手順などのダイブプランをバディと一緒に計画します。
- ダイブ・プランニングに熟達します（ダイブ・コンピューター、RDP/テーブルで）。すべてのダイビングを安全マージンのあるノンストップのダイビングで行いません。水中では水深や時間をモニターする計器を使用します。ダイビングの最大深度は、私のトレーニング・レベルと経験の範囲内に制限します。1分間18メートルより遅い速度で浮上します。S.A.F.E.ダイバーになること - **Slowly Ascend From Every dive**（すべてのダイビングでゆっくりと浮上）を心がけます。水深5メートルで3分間あるいは用心してさらに長く安全停止をします。
- 正しい浮力を維持します。BCDに空気を入れなくても中性浮力になるように、水面でウエイト調整をします。水中では中性浮力を保ち、水面移動するときや水面で休息するときにはプラス浮力を確保します。ウエイトはいつでも捨てられるようにしておき、トラブルのときは浮力を確保します。少なくとも1個の水面用シグナル（シグナルチューブ、ホイッスル、ミラーなど）を携帯します。
- ダイビング中は正しい呼吸を維持します。圧縮空気を吸っているときには絶対に息ごらえやスキップ呼吸をしません。また、スキン・ダイビングなどの息ごらえダイビングでは、過剰なハイパーベンチレーションを避けます。水面、水中を問わず、水中にいるときは動きすぎて疲れてしまわないようにし、私の能力の限界内でダイビングします。
- 可能な限り、ボートやフロート（浮具）、その他の水面用ステーションを設置して使用します。
- 各ダイビング・ポイントでの漁業規則や、ダイブ・フラッグの使用など、ダイビングに関する法律や規則やルールを守ります。

私は、上記内容をよく読み、不明な点に対しては説明を受け、納得しました。私は、これらの実施要項の重要性と目的を理解しました。これらを守ることが私自身の安全と楽しみのために必要であることを理解し、ダイビングするにあたって、これらの実施要項を守らない場合には私自身を危険な状況においてしまう可能性があることを認識しています。

参加者署名

年 月 日

日付

未成年の場合、保護者の署名（親権者あるいは後見人）

日付